

全管理職に向け石森市長が年頭訓示

令和2年の仕事始めとなった本日6日、石森孝志八王子市長が全管理職に対し、年頭訓示を行った。会場には、木内・駒沢両副市長をはじめ、安間教育長、伊藤代表監査委員、部課長約170名が整列した。

石森市長は冒頭、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」がいよいよ開催される年を迎え、本市で「聖火リレー」や「自転車ロードレース」が開催されること、そして、世界中から多くの方が訪れるこの機会に、八王子の文化と魅力を発信して、地域の活性化に取り組んでほしいと伝えた。

次に、今年はこれまで進めてきた大型プロジェクトが目に見える形となり、八王子駅周辺では、マルベリーブリッジの延伸やユーロードの整備が完了し、産業交流拠点の建設工事も進んでおり、今後はさらに、中町エリアや南口の医療刑務所跡地の活用、川口物流拠点の整備などが進むことから、これらの工事を加速し、八王子全体の活性化につなげていきたいと述べた。

また、「中学校区」を単位とした「地域づくり」を進めるため、地域の魅力に光を当て、郷土愛を育む取組を進めていき、八王子市民にまちの魅力を再認識してもらうことで、まちづくりに活かしていきたいと述べた。

最後に、様々な計画を推進し、中核市として、そして多摩のリーディングシティとして相応しいまちづくりに全力で取り組むよう求め、職員一丸となるよう伝え、結んだ。



管理職に向け年頭訓示を行う石森市長